

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成23年8月25日(2011.8.25)

【公開番号】特開2009-149781(P2009-149781A)

【公開日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2009-027

【出願番号】特願2007-329543(P2007-329543)

【国際特許分類】

C 0 9 J 133/06 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 7/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 133/06

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月6日(2011.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エチレン性不飽和単量体（A）を、乳化剤、重合開始剤及び水を必須成分とする水性媒体中で重合してなる粘着剤用樹脂組成物水性分散体と、コハク酸エステル化合物（B）と、アルコールアルコキシレート構造を有する非イオン系界面活性剤（C）とを含有する事を特徴とするカーテン方式塗工用水性粘着剤組成物。

【請求項 2】

乳化剤が反応性乳化剤を含むことを特徴とする請求項 1 記載のカーテン方式塗工用水性粘着剤組成物。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 記載のカーテン方式塗工用水性粘着剤組成物をカーテン方式の塗工機により塗工し、乾燥することで粘着剤塗工物を得ることを特徴とする粘着剤塗工物の製造方法。

【請求項 4】

塗工する速度が 50～1000 m／分である事を特徴とする請求項 3 記載の粘着剤塗工物の製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の課題は、特にカーテン方式により水性粘着剤を塗工する場合において、塗工表面の塗膜切れ(カーテン切れ)やカスレやハジキなどがなく、かつ平滑な塗工表面を得る事ができる水性粘着剤組成物とその塗工物の製造方法、およびそれにより得られる粘着剤塗工物を提供する事にある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

第1の発明は、エチレン性不飽和単量体（A）を、乳化剤、重合開始剤及び水を必須成分とする水性媒体中で重合してなる粘着剤用樹脂組成物水性分散体と、コハク酸エステル化合物（B）と、アルコールアルコキシレート構造を有する非イオン系界面活性剤（C）とを含有する事を特徴とするカーテン方式塗工用水性粘着剤組成物に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

第2の発明は、乳化剤が反応性乳化剤を含むことを特徴とする請求項1記載のカーテン方式塗工用水性粘着剤組成物に関する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

第3の発明は、請求項1記載の水性粘着剤組成物をカーテン方式の塗工機により塗工し、乾燥することで粘着剤塗工物を得ることを特徴とする粘着剤塗工物の製造方法に関する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

第4の発明は、塗工する速度が50～1000m／分である事を特徴とする請求項3記載の粘着剤塗工物の製造方法に関する。